

西伊豆健育会病院 医局 医師 吉田英人

- 功 績** グループの介護老人保健施設でクラスターが発生した際、県コロナ感染症対策専門家会議座長や保健所長と連携しながら迅速に行動し、利用者さん・ご家族・職員に安心感を与えクラスターの早期終息に向けて取り組んでいる功績。
- 推 薦 者** Ma-D 小柳 拓也
- 推 薦 理 由** 医療資源が乏しい地域の老健で発生したクラスターに対して、発生早期から県や保健所、グループ病院、法人本部と密に連携しワンチームとなることで、十分にクラスターを抑え込める一例となったと思います。その中心的役割を担った吉田医師を理事長賞に推薦致します。

内 容

1月末、同グループの老健施設でCovid-19のクラスターが発生しました。賀茂圏域で新型コロナに対応する病床は数床しかなく、東部保健所管内の病床利用率も逼迫している状況で、今後増えると予想される感染者は地域で診ていかなければならない状況になることは明白でした。

吉田医師は、迅速な対応が必須と関係機関の医師と連絡を取り合い、1月30日に賀茂保健所・ふじのくに感染症専門医協働チーム (FICT) らと施設内部を視察、県の機関に早期に現場を見てもらうことで、県庁から不足している医療物資等をタイムリーに送って頂ける状況をつくり、更にDMATの派遣も検討され、派遣されることとなりました。

また吉田医師は、治療を望む重症者の専門病院への転送以外、軽症者であれば当院で診るのが既定路線ですが、万が一当院でクラスターが発生した場合、西伊豆圏域の医療が崩壊してしまうことを鑑み、自身が感染対策のハブとなり、施設内で感染者をみていくこととしました。まずは陽性患者さんのご家族に連絡し現在の症状と今後の方針について話し合い、静岡県庁関係各課、静岡県賀茂保健所、感染症専門医、西伊豆健育会病院が連携して最善を尽くす旨をお伝えしました。更に患者さんに必要な医療を提供できるようDMAT派遣終了後は、重症COVID-19患者の治療を行っていた経験のある当院後期研修医を施設に常駐させました。毎朝夕、カンファレンスを実施し、法人本部・当院とも情報を共有し病態の変化に十分気を配りました。残念にも亡くなる方がいらっしゃいましたが、吉田医師は休日であっても即駆けつけ、ペーサーメーカーを外す処置など全ての利用者さんへの対応を行いました。

現在、施設は気の抜けない状況は続いているようですが、おぼろげながら終息への道筋が見えてきています。今回、医療資源が乏しい地域の老健で発生したクラスターに対してでも、県や保健所、グループ病院、法人本部と密に連携しワンチームとなることで、十分にクラスターを抑え込める一例となったのではないかと思います。その中心的役割を担った吉田医師を理事長賞に推薦致します。